

令和5年度 第6回 愛宕小学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和6年2月22日（木）13：30～15：30

2 場 所 愛宕小学校・本館2階会議室

3 挨拶

【委員長】

小学校も年度末が近づいている。6年生を送る会、卒業式がある。6年生が、事故やケガのないよう無事迎えてほしい。

登校の見守り活動では、子どもたちの多くがにぎやかに歩いている一方で、暗い顔をしている子も見かける。こちらから挨拶をしても、挨拶がない子がいる。周囲に対して意識がないので、事故に遭わないか心配している。皆様で、子どもたちを温かく見守ってあげてほしい。

【校長】

前回の学校運営協議会で学校関係者評価を協議していただき、前向きな意見をたくさんいただいた。皆さんからいただいた意見をもとに、次年度の学校経営にいかしていきたい。

4 報告（○学校の説明、☆委員の質問・意見、→質問に対する学校の回答）

【行事の紹介】

- 2月2日（金） 入学説明会
 - ・民生児童委員の皆さんを新入児童保護者に紹介した。
- 2月9日（金） 3年生出前授業 社会科「昔の暮らし」
 - ・学習支援ボランティアの横山さん、稲垣さんに、昔の道具や生活について教えていただいた。
- 2月16日（金） 2年出前授業 生活科「馬術体験」
 - ・生き物とのふれ合いを通して、命の大切さを学んだ。
 - ・講師さんから「（2年生は）反応がいいですね。」とっていただいた。3年生に向けて自分たちの成長を振り返るきっかけになってほしい。
- 3学期児童いじめアンケート
 - ・学期に1回実施している。アンケートにいじめられたことを訴えた子には、聞き取りとケアを行い、保護者にも連絡した。また、相手に嫌な思いをさせた児童に対して、担任が指導を行った。学校の教職員がアンテナを高くし、児童が安心して過ごせるよう見守っていきたい。
- 保幼小中間の引継ぎ
 - ・保育園・幼稚園から小学校へ入学する児童、小学校から中学校へと進学する児童を対象に、新しい学校生活へスムーズに移行できるよう引継ぎ会を頻繁に行っている

時期である。保護者のニーズに合わせて、個別に引継ぎを行う児童もいる。

○ 児童の安全に係る事案

階段でつまずいて転倒しけがをする事案、窓ガラスが落下する事案があった。

☆ 窓ガラス飛散防止フィルムの貼付等の対策を迅速に行ってほしい。

→ 窓ガラス飛散防止フィルムの貼付は進めているところである。窓の開閉について、担任より全ての児童に十分気をつけるように指導を行った。

5 協議（○学校の説明、☆委員の質問・意見、→質問に対する学校の回答）

（1）令和5年度学校関係者評価（近日中にHPに公開予定）

○ 来年度は、全国学力学習状況調査の結果を受けて、本校の授業研究の窓口となる教科を社会科から算数科に変更する。

☆ 市内全ての学校が教科を変更するのか。どのように決めているのか。

→ 教科については、各校の課題に合わせて各校で決めている。市内では、国語・算数の研究に取り組んでいる学校は多い。愛宕小の児童は、自分の考えを自分の言葉で表現する力が弱い。児童同士が対話を通して自分の考えを深め、表現できるように取り組んでいきたい。

○ 本校児童の自己肯定感が低いことが大きな課題である。次年度より非認知能力の育成に市教育委員会も力を入れていく方針を打ち出している。子どもを「褒める」と共に、「できた」という達成感を味わうことで、自己肯定感は高まっていく。また、非認知能力を育む上で、スクリーンタイムと読書活動のバランスも注目されている。2学期実施の生活習慣チェックシートの取組で、長時間のスクリーンタイムが課題として明らかになった。そこで、3学期は、高学年を対象にメディアの使い方に特化したメディアバランスチェックに取り組む。子どもたちにメディアの適切な使い方を身につけてほしい。

☆ 親は、子どもを安心して送り出したいと思っている。まずは、子どもたちの心身の安全・安心に取り組んでほしい。

☆ 学校運営協議会で地域の意見は出しているが、保護者の意見がなかなか伝わってこない。今の世代の保護者から、家庭の現状や保護者の考え等、生の声を聞きたい。

→ 4月の学級懇談会で、全クラスをオンラインでつなぎ、校長から学校と家庭との連携の大切さの話をした。保護者と学校とで行う「教育を語る会」に保護者が参加しやすくするために、次年度は9月の授業参観日の放課後に実施する予定である。また、新入生の保護者にも、就学時健診や入学説明会の場で、集団生活で大切なこと等を伝えている。

☆ 現在の社会情勢の中で、保護者の中には、休みがとりにくい人もいるかもしれないが、授業参観への人数が少なくなっているように感じる。

○ 家庭学習における端末の利用が進んでいる。端末を活用することで、意欲的に宿題に取り組み、自信をもつ児童もいるが、家庭学習の習慣が十分でない児童もいる。

☆ 学童に通所する児童は、学童が宿題をさせているのですか。

→ 学童で行っているところもあるようだが、学童では、宿題をすることを強制はされていないと思われる。

- ☆ 宿題ができたということも達成感を味わう上で大切で、自己肯定感を高める。
- ☆ 学校の先生方は、子どもの状況に応じて、いろんなことに取り組んでいると思う。
- まずは、児童が楽しく学校に来てくれることが大切だと考える。個々に課題がある場合は、個に応じて目標を立て、個別対応に取り組んでいる。できる限りだが、宿題をはじめとする家庭学習の大切さを話している。
- ☆ 毎朝、登校をしぼる子どもに声をかけている先生たちがいる。非常に大変だと思う。その子の周りの人がもっと関わってやれないのかと思う。学校に登校できない原因は、いじめ、先生との関係、学力、コミュニケーション力…等、様々あるが。
- 本校では、現在、いじめや先生との関係が原因で登校できない児童はいない。メンタル面や親子の関係性、集団生活が苦手等、心理的要因や特性等が原因と考えられる。スクールカウンセラーと連携した対応が大切である。
- ☆ 保護者はとても忙しく、それにより家庭生活にひずみが生じている。コロナ禍による人数制限を経て、様々な行事への参加が減り、委任状を出す方が多くなった。生活に余裕がないと非認知能力を伸ばすこともできない。保護者だけでなく、地域にも働きかけ、みんなで力を合わせてこの状況を変えていかないといけない。
- ☆ スマホの普及により、家庭での親子の会話が少なくなっているのではないか。
- 一つのきっかけとして、全学年で「親子読書」を勧めている。保護者の感想には、好意的な内容が多い。
- ☆ 現在の家族は、一つの食卓を囲んで食事をする場面が少なく、その機会を設けることが難しくなっている。子どもは、夕方以降もスポーツ活動や習い事があり、両親が交代で送迎している家庭もあると聞く。
- ☆ 保護者の意見をぜひ聞きたい。PTA役員会で出た意見を協議会に出してもらいたい。
- ☆ 自治会の子ども会等に参加すると、保護者の方が集まって話をしている。話を聞かせてもらえると、子どもたちの教育に高い意識を持っており、子育てを学びたいと思っている。保護者同士が話をすることができる場を設けると、保護者の声が出る。
- ここで出たご意見をPTA役員に還流する。今後の活動に役立てていきたい。

(2) 令和6年度学校経営の改革方針

- 今年度の成果と課題を元に作成した。次年度は、非認知能力の育成を重視していきたい。次年度の4月以降に、もう少し詳しいものを示していきたい。
- ☆ 改革方針の3-4（組織的な学校運営と風通しのよい職場づくり、総勤務時間の縮減）の一部がわかりにくい。ミドルリーダーはわかるが、民間ではあまり「同僚性」という言葉は聞かない。職場の活性化は難しい課題だ。職場に明るく賑やかで積極的に同僚を引っ張ってくれる先生がいるとできるのではないか。
- 同僚性とは、互いに支え合い高め合っていくような関係性のことである。ミドルリーダー等、学校で核となる教員が盛り上げていけるようにしていきたい。コンプライアンスの観点からも、教員同士が互いに指摘し合えることは、とても大切であると考えてい

る。次年度はクラス数減のため、教職員数が減る。少ない人数で運営できる組織改革を進めている。

☆ 他校で教職員の余剰があった場合、そこから来てくれることはないのか。

→ 国の法律で教職員数は定められている。県単位や市単位では、加配教員を増やしてくれる場合がある。例えば、算数の少人数教育のための教員配置等である。

☆ 教員の残業が問題視されているが、残業が減る見込みはないのか。

→ 工夫はしているものの、突発的な生活指導等は、時間外にせざるを得ない場合がほとんどである。問題がある場合は、学校全体で組織的に対応している。

☆ 学校の評価は、数字ではとらえにくい。いじめ防止を肯定的にとらえている児童や保護者が98%であるなら、企業では良いと評価される。しかし、学校では、否定的な残りの約2%を気にしなければならない。学校運営協議会は、問題解決や学校支援のためにあると考えている。

→ 地域の支えのおかげで学校が成り立っている。前に進まない状況はよくないので、精一杯取り組んでいきたい。

6 その他

(1) 令和6年度学校行事予定

○ 令和6年度運動会を11月16日(土)に実施する予定。それに伴い、様々な行事日程を変更していく。令和7年度以降は、運動会を10月第4週土曜日に実施する方向で調整を図るため、修学旅行を9月第4週に実施することを検討している。また、令和7年度は、本校の研究発表会を11月中旬に開催する予定である。

7 アドバイザーより(所用で欠席されたため省略)

8 連絡

(1) 今後の行事予定

2月28日(水)9:30-10:30	6年生を送る会
3月19日(火)AM	卒業証書授与式
3月25日(月)	修了式・離任式
3月26日(火)-4月7日(日)	春休み
4月8日(月)	新年度(令和6年度)始業式
4月9日(火)AM	入学式

(2) 来年度の学校運営協議会委員の選出

○ 山崎委員長が任期満了により、横山副委員長兼地域コーディネーターは諸事情により本会をもってご勇退される。これまで地域のことをたくさん教えていただき、学校の教育活動を支えていただいた。教員は異動があるが、地域には代々受け継がれていくものがある。そういう意味でこの学校運営協議会の意義は大きい。これを支え導いて

いただいたお二人に心から御礼申し上げます。

☆ 山崎委員長より

令和3年度より3年間、委員長を務めさせていただいた。前任の委員長・アドバイザーから、めいっばいの学校への応援をと言われて、取り組んできた。できる限りの応援をさせていただいた。おかげで、学校のことがわかるようになった。今後は、登下校の見守りボランティアとして、学校を支援していきたい。

☆ 横山副委員長兼地域コーディネーターより

これまで愛宕小学校の5人の校長先生と出会い、ともに歩んできた。民生児童委員がきっかけで学校に入ることとなった。私は、学校と赤い糸で結ばれていると思っている。今後は、山崎さんとともに登下校の見守りボランティアを引き続き行っていきたい。また、学習支援ボランティアの一人として、昔のくらしや遊び等、できる限り活動していきたいと考えている。

→ 後任として、次年度の新しい学校運営協議会委員長を委員の大橋さん、副委員長兼地域コーディネーターを松村さんをお願いする。

(3) 令和6年度第1回学校運営協議会（予定）

○ 令和6年5月28日（火）9：30～11：30本館2F会議室